

アンケート結果

1. 調査概要

(1) 目的

「深大寺元町特別緑地保全地区」の保全管理計画骨子案作成にあたり、対象地の課題や今後の保全活用のあり方について近隣住民の意見を把握し、基本方針および、保全や利用の方針に反映させることを目的にアンケート調査を実施した。

1) 調査概要

- ① 時 期：令和6年2月下旬～3月上旬（2週間程度）
- ② 方 法：周辺住民へポストイングアンケート（web 回答と郵送回答の併用）
- ③ 対象者：近隣住民

2) 調査内容

設問の内容および、調査結果の反映どころについて、以下のとおり設定した。

表 0-1 アンケート設問構成

NO.	設問内容	結果の反映どころ
1	年齢	基本データ（分析等に利用）
2	居住年数	同上
3	特別緑地保全地区指定の認知	同上
4	特別緑地保全地区指定への賛否	同上
5	対象地で継承したいこと	課題、基本方針
6	緑地の将来像について	保全管理の方針
7	緑地の更新について	同上
8	閉鎖管理又は開放管理について	利用の方針
9	対象地の活用方法	同上
10	自由意見	適宜

3) アンケート設問

前項までの検討を踏まえ、以下のとおりアンケート設問を設定した。

●あなたについてお聞かせください

問1 あなたの年齢をお答えください。（1つだけ○）

1 20代以下	4 50代
2 30代	5 60代
3 40代	6 70代以上

問2 お住まいの年数はどのくらいですか。（1つだけ○）

1 5年未満	4 20～30年未満
2 5～10年未満	5 30～40年未満
3 10～20年未満	6 40年以上

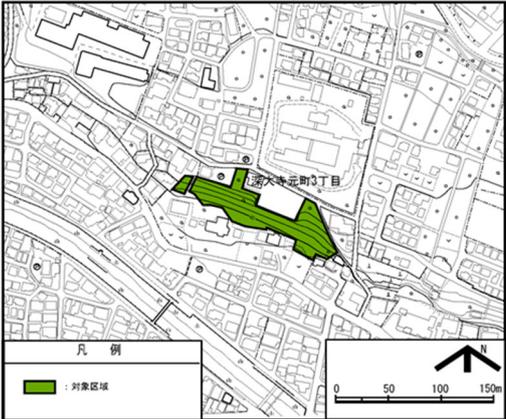


図 0-1 対象区域

●「深大寺元町特別緑地保全地区」についてお伺いします

問3 平成29年2月にこの緑地を「深大寺元町特別緑地保全地区」として都市計画決定したことをご存じですか。(1つだけ○)

※「特別緑地保全地区」とは、土地緑地法に基づき、豊かな緑を未来へ継承するために、都市における良好な自然的環境を形成している緑地を指定するものです。この指定により建築行為など一定の行為に制限がかかります。

※「深大寺元町特別緑地保全地区」はすべて市有地です。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っている | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問4 「深大寺元町特別緑地保全地区」で緑を守り保全・活用していくことについて、どのように考えますか。(1つだけ○)

- | | | |
|------|------|-------------|
| 1 賛成 | 2 反対 | 3 どちらとも言えない |
|------|------|-------------|

●「深大寺元町特別緑地保全地区」の将来についての考えをお伺いします

問5 この緑地について、あなたがこれからも守りたいと思うことや、今後、市にやってほしいことは何ですか。(当てはまるものすべて)

- | | |
|------------------------|---------|
| 1 武蔵野の雑木林の継承 | 6 わからない |
| 2 貴重な野生動植物の生息環境(生物多様性) | 7 その他 |
| 3 崖線の緑や大木など低地側から見上げる景観 | 〔) |
| 4 北側(高台)からの眺望 | |
| 5 自然を活かした緑地の利活用 | |

※武蔵野の雑木林：クヌギやコナラなどの落葉広葉樹林からなり、かつて薪炭林等として活用され、調布市にも多く広がっていました。明るいい林で、多様な生き物の生息の場にもなっています。

問6 別紙「深大寺元町特別緑地保全地区」の現況をご覧ください、回答してください。あなたが将来的に大切にしていきたいと思うものは何ですか。(当てはまるものすべて)

- | |
|--|
| 1 クヌギ・コナラ群落(落葉樹の林) |
| 2 シラカシ群落(常緑樹にケヤキなどの落葉樹が混じる林) |
| 3 モウソウチク林(竹林) |
| 4 スギ・ヒノキ・サワラ群落(針葉樹の林) |
| 5 貴重な動物、植物(ニホンカナヘビ、ワニグチソウ・キンラン・ギンランなど) |
| 6 わからない |
| 7 その他() |

問7 市は緑地の保全に老木や倒木の恐れがある樹木を計画的に伐採・補植することが不可欠であると考えています。あなたは枝打ち伐採や樹木の更新を行っていくことについてどのように考えますか。(1つだけ○)

- 1 計画的に更新した方が良い
- 2 現状の緑地保全を優先し、極力更新する必要はない
- 3 わからない
- 4 その他 ()

問8 現在、この緑地は閉鎖管理していますが、今後、計画策定していくにあたり一部開放エリアを設け散策等出来るようにしていくことについてどのように思いますか。(1つだけ○)

- 1 開放エリアを設けた方が良い
- 2 閉鎖管理のままで良い
- 3 どちらとも言えない
- 4 その他 ()

問9 (問8で「2以外」と答えた方のみ)

この緑地が常時または一時的に開放した場合、あなたはどのように利用できたら良いと思いますか。(当てはまるものすべて)

- 1 樹林の中を散策
- 2 景色を楽しみながら休憩・リフレッシュ
- 3 バードウォッチングや生き物観察
- 4 子どもたちの環境学習
- 5 葉や枝などを使った遊び
- 6 その他

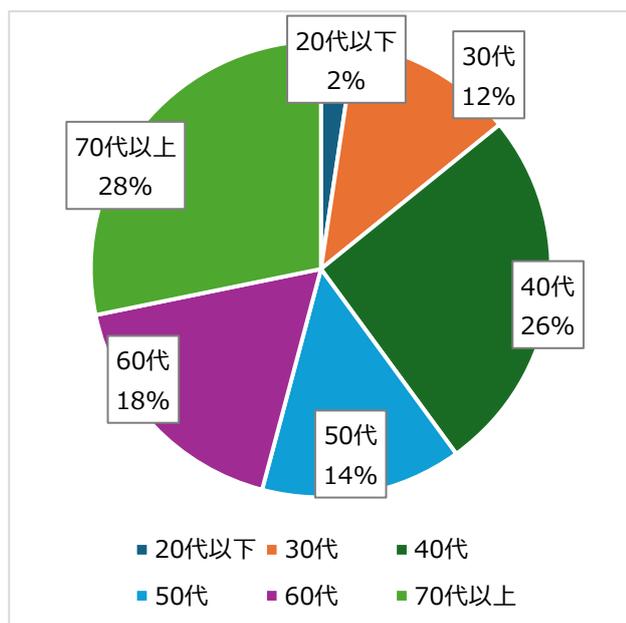
問10 豊かな自然を未来に残していくため、今後の取組についてご意見やお気づきの点などがございましたらお聞かせください。(自由回答)

(2) 調査結果

1) 回答者の基本データ

- ・ 年齢は、70代以上が約30%と最も多く、次いで40代が約25%、60代、50代が各約15%、30代が約10%、20代以下が約2%であった。
- ・ 居住年数は、40年以上と、5～10年がそれぞれ30%弱と最も多く、10～20年が約15%、20～30年が10%強、5年未満と30～40年がそれぞれ10%弱であった。

<年齢>



<居住年数>

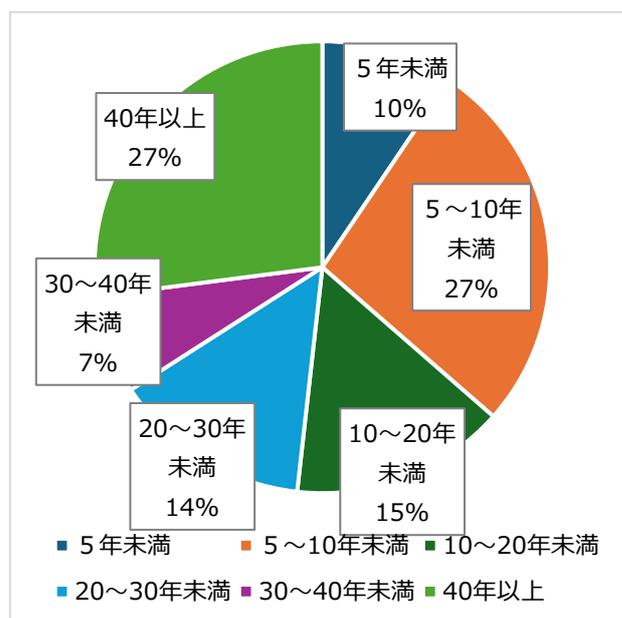


図 0-2 回答者の年齢と居住年数割合

問 3. 平成 29 年 2 月にこの緑地を「深大寺元町特別緑地保全地区」として都市計画決定したことをご存じですか。

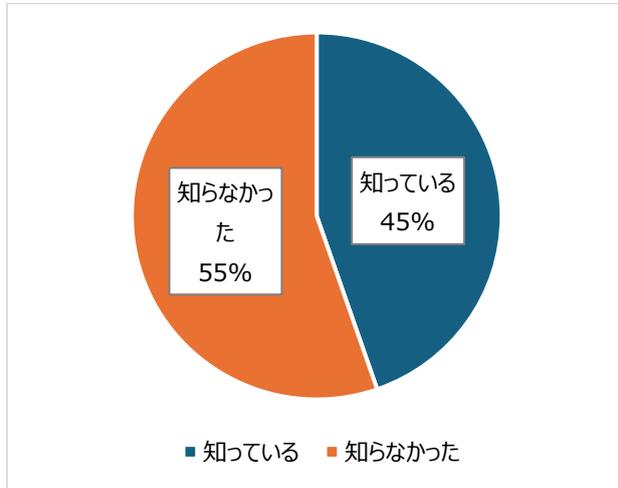


表 0-2 対象地の認知と年齢の関係

(人)

年齢	知っている	知らなかった	計
20代以下	1	1	2
30代	4	6	10
40代	6	16	22
50代	9	3	12
60代	5	10	15
70代以上	13	11	24
計	38	47	85

図 0-3 特別緑地保全地区指定の認知 (問 3)

問 4. 「深大寺元町特別緑地保全地区」で緑を守り保全・活用していくことについて、どのように考えますか。

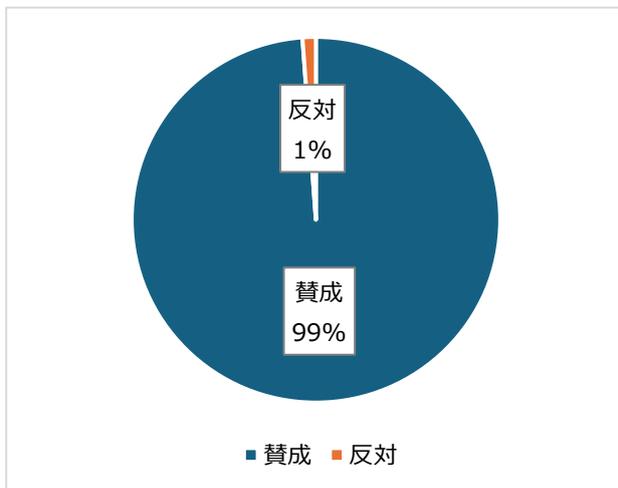


図 0-4 特別緑地保全地区指定の賛否 (問 4)

2) 対象地の将来について

問 5. この緑地について、あなたがこれからも守りたいと思うことや、今後、市にやってほしいことは何ですか。
(複数回答可)

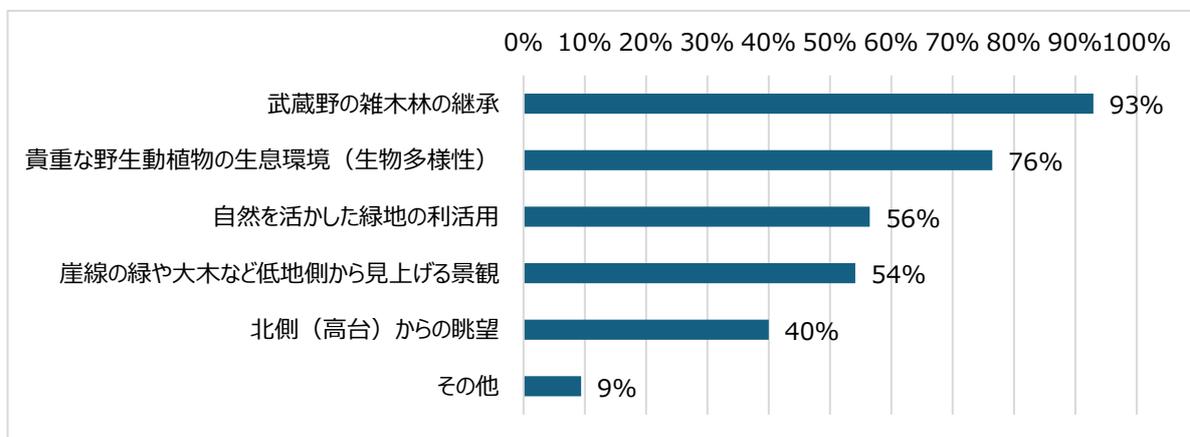


表 0-3 その他の意見（問 5）

回答詳細
ウイルスやカイガラムシなどが蔓延しないよう風通しの良い雑木林。台風の後など、深大寺南参道につながる坂道に葉っぱや泥が多く流れますので、下水の排水溝が詰まらないよう気にかけていただきたいです。
人と自然が共存できるようなスペースの活用
けもの道程度の道があると中に入って楽しめるし、地面も踏み固められるのでは。 unnecessaryな木は伐採しないでほしい。その方が土砂崩れ防止につながるのでは？
余計な手を加えることなく、そのままの状態を希望します（枯草、雑草処理は除く）
今後とも今の形状を維持していただきたいと思います。
緑と人との共生（カフェほどの集客、活気のある生活圏、飲食店）
今の樹林を今後も生かして、生物、人間の共存を守ってほしい。
雑木材の木の高さ制限を設けて欲しい、台風の倒木、落ち葉が大量になる。

問6.別紙「深大寺元町特別緑地保全地区」の現況をご覧ください、回答してください。

あなたが将来的に大切にしていきたいと思うものは何ですか。（複数回答可）

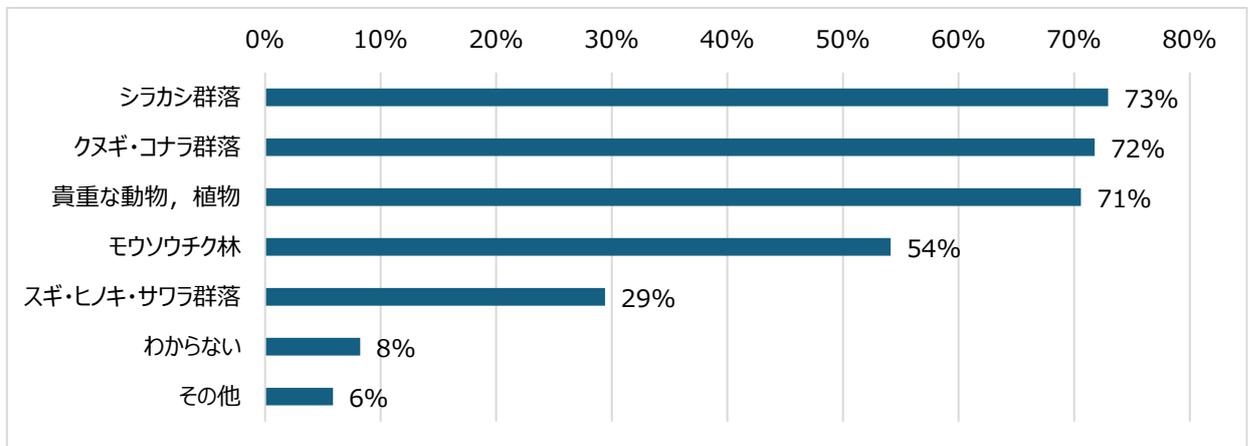


図 0-5 緑地の将来像について（問6）

表 0-4 その他の意見 (問 6)

回答詳細
スギ花粉症のため、強いて言うならスギは不要です
サクラ
鳥のすみか
カナヘビも以前はよく見かけましたが、最近では減少しているのかほとんど見なくなりました。



図 0-6 アンケート別紙記載の現況図

問 7. 市は緑地の保全に老木や倒木の恐れがある樹木を計画的に伐採・補植することが不可欠であると考えています。あなたは枝打ち伐採や樹木の更新を行っていくことについてどのように考えますか。

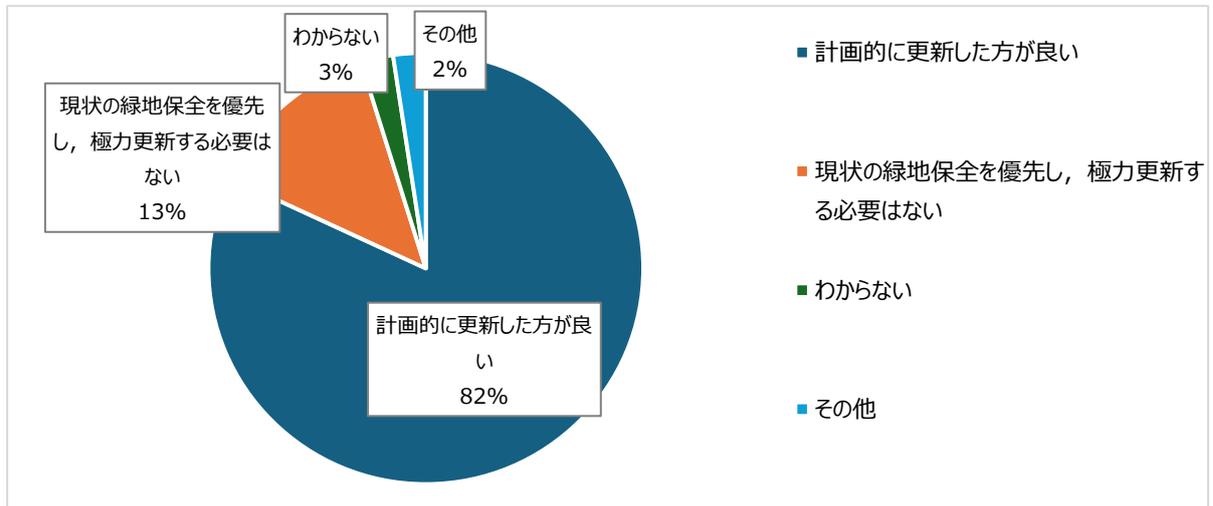


図 0-7 緑地の更新について（問 7）

表 0-5 その他の意見（問 7）

回答詳細
安全性などを考慮し、伐採するのであれば、新しく苗木を植え、保全することを希望します

表 0-6「現状の緑地保全を優先し、極力更新する必要はない」とした人の自由意見（問 10）

回答詳細
問 7 に関して補足ですが、倒木の危険性がある場合は対応していただきたいです。散策コースが設けられれば活用させていただきたいですが、保全の観点から立入禁止域をはっきりと示してください。
できるだけ、自然のままを残しつつ、後世に伝承していく形が望ましい。散策路等、人が介在する環境になると、ゴミが散財し侵入禁止エリアへの浸食が危惧されます。
自然のままに近い雑木林を維持してほしい。枯れて伐採した木の後には新たな木を植えてほしい。竹林の枯れている竹は処分してほしい
静かな環境、住民の生活のため極力現在のままを望みます。特に問 8 → 開放し、問 9 → 1、2、4、5 について反対します。
今まで自然のままできていたので、特別な取組は不要と思います。他の地区の人が来ると無責任な行動があると困る。それほど広くないので。
居住を始めた 40 年前から比べると、本当に住居が増え緑が減りました。貴重な植物、動物、昆虫を守るため最低限の手を加える程度で保存維持のためどうぞよろしくお願いいたします。
閉鎖管理のままより自然を守りながらも（難しいとおもうけど）中の様子が楽しめるようにしてほしい。
あんなに立派な木々エリアはなかなかないので、今後も維持しつつ大切にしていきたい。緑を無駄に切り倒すことは絶対反対。
木や草の緑は鳥の声も聞かれ、心地よく感じます。
この地の自然に惹かれて住んでいる人も多いと思うので、生かしながら、守りながらも発展してほしい。

問8.現在、この緑地は閉鎖管理していますが、今後、計画策定していくにあたり一部開放エリアを設け散策等出来るようにしていくことについてどのように思いますか。

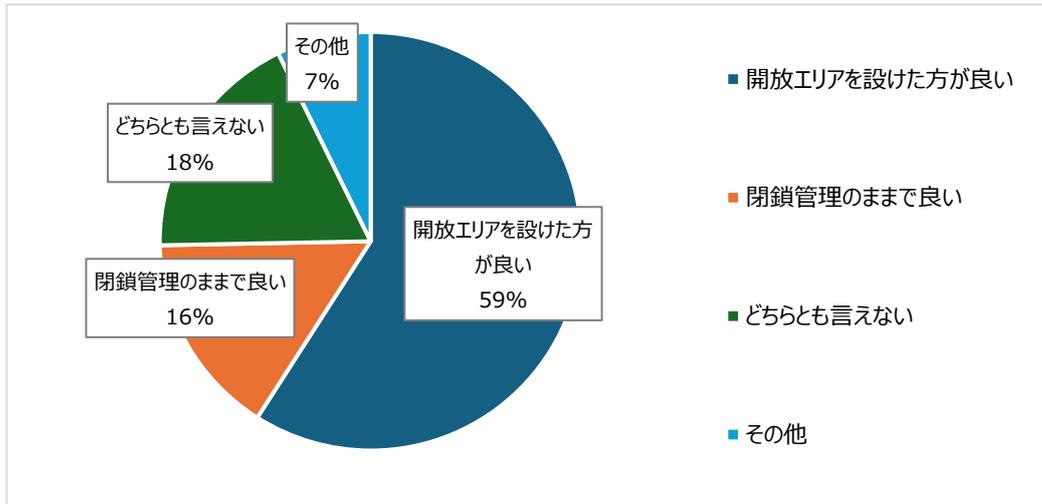


図 0-8 閉鎖管理または開放管理について（問8）

表 0-7 その他の意見（問8）

回答詳細
知らない人が入り家の中が見えるのは嫌
建造物のないシンプルで害のないもの
開放エリアを設けることに反対ではないが、道路から見通しが悪いため、防犯上の配慮（見通しをよくする、住宅地との間に柵を設けるなど）が必要だと思う。
けもの道程度でよい
深大寺の水生植物園や神代植物園で十分と考えます
武蔵野の林の状態を守ってください。

表 0-8「閉鎖管理のままでよい」とした人の自由意見（問 10）

回答詳細
ひとつまえの質問内容への意見になりますが、開放エリアを設けることでのトラブルが予想されます。例えば深夜に騒ぐ人がでたり、不審者の出没などです。つきましては、現状の取組内容のまま、出来る限り自然を後世に残すことを最優先にして、これからも活動して頂くことを切に願います。
緑地の木の落ち葉に困っています。定期的に手入れはされているようですが、一年を通してもう少しまめに落ち葉の管理をしていただきたいです。
当該地区は、もともとカブトムシやクワガタなどが生息したり、ホタルが飛来したりするなど、古き良き自然の残る場所でした。道の拡幅や伐採などによって、カブトムシ、クワガタ、ホタルを見かけることはほぼなくなりました。元に戻すことまでは求めませんが、なるべくそのままの自然を残すことを強く希望します。
畑・緑地が宅地化されているので自然のまま残してほしい
できるだけ、自然のままを残しつつ、後世に伝承していく形が望ましい。散策路等、人が介在する環境になると、ゴミが散財し侵入禁止エリアへの浸食が危惧されます。
自然のままに近い雑木林を維持してほしい。枯れて伐採した木の後には新たな木を植えてほしい。竹林の枯れている竹は処分してほしい
静かな環境、住民の生活のため極力現在のまを望みます。特に問 8 →開放し、問 9 → 1、2、4、5 について反対します。
木や草の緑は鳥の声も聞かれ、心地よく感じます。
緑を保全することは町全体が住みやすくなり、大変重要なことだともっています。

問9. 問8で「2 以外」と答えた方について、この緑地が常時または一時的に開放した場合、あなたはどのように利用できたら良いと思いますか。（複数回答可）

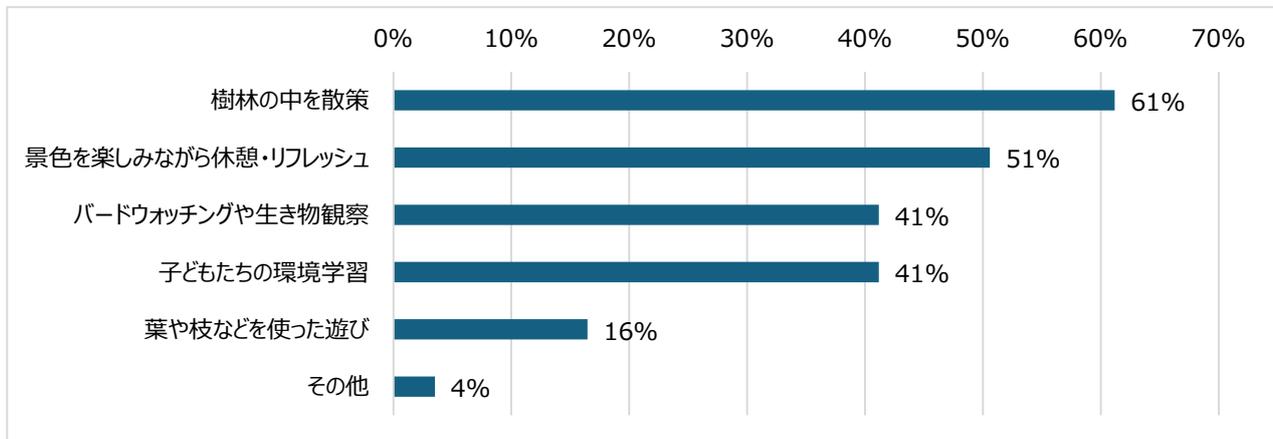


図 0-9 対象地の活用方法（問9）

表 0-9 その他の意見（問9）

回答詳細
夏の夜、カブトムシなど捕まえる家族連れを見かけます。子どもたちの学習には良いことですが、開放エリアとなったら、迷惑行為などが深刻化にならないか心配です。そこはイベント企画などでエリアを管理した方が良いかもしれません。
細長い展望台の散策道 深大寺から歩行ルートで上り下り出来るようにする 参拝者と車がすれ違って危ないから人を修道院の上の道から誘導して散歩、散策しながら歩くようにしてほしい ゴミ収集車、宅配便すれ違いに気を遣う
緑地と SDGs、店などスモールコミュニティーができると良いと思う。

問 10. 豊かな自然を未来に残していくため、今後の取組についてご意見やお気づきの点などがございましたらお聞かせください。(自由回答)

.

【自由意見詳細】

3) 自然環境の保全について

回答詳細
深夜、時々ためきやカエルなどが出現します。 地球は人間のためではなく、生き物など全て共存していく環境は必要だと感じました。
自然を守り、自然と共存できる配慮
適切な管理のもと、緑地を継続して緑の多い環境を守ってほしいと思います。
貴重な雑木林をぜひ大事にしていきたいです。
野川含めて、環境がよく、多種多様な生物もいるし、ホタルまでいるこの環境を維持していただきたいと思います。
自然が残っていることが、調布深大寺の良さでもあるのでぜひ継承して欲しい。
この地域に長年住んでいますが、緑が減ったことを実感しています。老木等の伐採などは必要かと思いますが、子どもたちのために長い目でみた緑地保全の取り組みが必要不可欠であり、結果として魅力ある深大寺を残すこと、都心にはない価値を高め、魅力的な地域となってくれることを願っています。
当該地区は、もともとカブトムシやクワガタなどが生息したり、ホタルが飛来したりするなど、古き良き自然の残る場所でした。道の拡幅や伐採などによって、カブトムシ、クワガタ、ホタルを見かけることはほぼなくなりました。元に戻すことまでは求めませんが、なるべくそのままの自然を残すことを強く希望します。
この地区に移り住んで10年も経っていませんがここ数年で周辺の緑地が随分減ってしまった印象があります。昔から住んでおられる方々に聞くとかつては緑豊かであったと聞きました。残された緑地は僅かとなってしまったようですがその部分を守りたいと周辺住民が思えるような保存方法で残して欲しいと考えています。
畑・緑地が宅地化されているので自然のまま残してほしい
整備の充実
緑地は心のオアシスです。これからも大切にしていきたいです。
緑豊かな調布にしていくために、できることは協力したい。応援しています。
住宅地の中の自然をできるだけ残してほしいと思います。
居住を始めた40年前から比べると、本当に住居が増え緑が減りました。貴重な植物、動物、昆虫を守るため最低限の手を加える程度で保存維持のためどうぞよろしく願いいたします。
現状の緑地を保全してほしい
この保全地区の近くを歩いて、深大寺の来る人々とも多くなった気がします。深大寺地区らしい緑が多く残されていてとても良かったと思います。
素晴らしい計画、賛成します。
最近宅地化が進み緑地が減っているので、ぜひ保全活動を進めて緑豊かな環境を作り、有効活用してほしいと思います。応援しています。
木や草の緑は鳥の声も聞かれ、心地よく感じます。
この地の自然に惹かれて住んでいる人も多いと思うので、生かしながら、守りながらも発展してほしい。
緑を保全することは町全体が住みやすくなり、大変重要なことだとおもっています。

4) 個別の樹種に関する意見

回答詳細
去年か一昨年の伐採で、さくらがすごく小さくなったので、斜面の一定間隔で、何本か桜があるとすごく嬉しい。 是非検討してほしい。多少の費用負担もします。
周辺に住宅が増える中、貴重な緑地であり、ぜひ保全してもらいたい。 ただ北側の針葉樹（特に杉）は毎年枝いっぱいにつけ、花粉だけでなく雄花そのものが降ってくる状態で、花粉症の身には庭に出るのも辛いので、配慮してもらえればと思う。
スギ花粉に非常に悩まされている。周りの子どもたちはみんな花粉症を発症しており、子どもの未来を守るためと言ってアレルギーをばら撒いていることに違和感を覚える。 切り倒すわけではなくて良いのでせめて花粉の時期の枝を切り落としてほしい。
自然のままに近い雑木林を維持してほしい。枯れて伐採した木の後には新たな木を植えてほしい。竹林の枯れている竹は処分してほしい
林の隣に住んでいます。杉やヒノキの花粉はベランダに降って、小雨の後、黄色のチョークで絵を書いたような模様ができます。そのままにしているとカビが生え、真っ黒なシミができてヌルヌルしてサンダルで滑ったことがあります。緑が好きで住んでいますが、現実には厳しいです。
スギ花粉がひどいため少しずつクヌギやコナラなどに更新してほしい。

5) 閉鎖管理を希望する意見

回答詳細
ひとつまえの質問内容への意見になりますが、開放エリアを設けることでのトラブルが予想されます。例えば深夜に騒ぐ人がでたり、不審者の出没などです。つきましては、現状の取組内容のまま、出来る限り自然を後世に残すことを最優先にして、これからも活動して頂くことを切に願います。
できるだけ、自然のままを残しつつ、後世に伝承していく形が望ましい。散策路等、人が介在する環境になると、ゴミが散財し侵入禁止エリアへの浸食が危惧されます。
静かな環境、住民の生活のため極力現在のまを望みます。特に問8→開放し、問9→1、2、4、5について反対します。
今まで自然のままできていたので、特別な取組は不要と思います。

6) 開放エリアのあり方に関する意見

回答詳細
閉鎖しすぎるよりも、少しでも活用できたほうが、緑地が身近にあるという価値を感じやすいのではと考えます。価値を感じる方が増えれば、賛同者は増え、維持保全是しやすくなるのではと感じます。
開放エリアを設けてもいいが、今まで子育てをしていたためや、野鳥が居なくなってしまうと寂しい。常時開放ではなく、例えばタケノコ堀りや竹を使った工作などの企画で、皆で竹を適正に管理する、子どもと一緒に虫取りをする、腐葉土を作って家庭菜園用に分けるなどの活動を月数回ペースで続けるなどの方法もあるのではないかと考える。
散策コースが設けられれば活用させていただきたいですが、保全の観点から立入禁止域ははっきりと示してください。
いろんな意見がありまとめていくのは大変だと思いますが、植物も適切な管理の元、広く色んな方が楽しめるような状態になると嬉しく思います。
近隣住民としては家の近くに通行人が増え過ぎる事は好ましくありませんが、蟹山など近所の似た場所を見るとそれほど人通りがあるわけでもなさそうですので、ある程度は解放しても良いと考えます。 緑の散策路が増える事は歓迎します。 夏には近所の子供達がカブトムシを求めて立入ってるようですし、歩行ルートや危険な箇所へのロープ柵などはあって良いのではと思います。 都会の街中に雑木林がある事が何よりの価値だと思いますので、緑を大きく減らしてしまうような開発や、宅地として民間に出す事は控えていただければ願っております。
武蔵野の面影が残る地形を残すことは今後の環境保護や防災を考える上で重要だと思います。定期的に枝打ちなどの管理を行政が行いながら是非残していただきたいです。みなさんにオープンにするかどうかは、たとえば夜間は閉めるなどができるならばやってほしいです。少なくともこの場所が私たちにあってはとても必要であると考えています。
開放することで、静かな環境が害されたりする場合は、どのようにするのか、活用方法について、近くの住人に対して、説明等を含めた説明会があれば、より良い活用方法が出てくるのではないかと考えます。ご検討よろしく願いいたします。
閉鎖管理のままより自然を守りながらも（難しいとおもうけど）中の様子が楽しめるようにしてほしい。
もっと開放的な空間にし、市民が緑地に触れあえるように維持管理してほしい。そして次世代にもこの景観を残して欲しい。
都市のなかの緑地として、人と自然が互いに関係することが大事だと思う。そのためにも、適切な伐採や補植は重要。そういった雑木林、里山的考えを子どもたちに伝えていくためにも、開放エリアを設けることは賛成します。人と自然の共存を考え、学ぶ場として活かしてほしいです。

7) 開放エリアの活用案

回答詳細
以前にタヌキとか見かけたことがあります。小動物との共存、昆虫(カブトムシやクワガタ)の保護、自然学校があるといいと思います。
クワガタやカブトムシがいるので子どもたちが安全に採集できるようになったらいいと思う。
延長 30 km に及ぶ国分寺崖線の一翼を担う調布市の大切な緑地の資産です。たまには、市で剪定など人の手を入れて散歩ができる緑地とし、保全した方が良いでしょう。PR をかねて、期間を限り「見学会」を催しても良いのでは？
高台の木々の間から差し込む夕日を見ると、この土地の良さを改めて感じます。林を残してほしいのはもちろんですが、中に入ってゆっくりしたり、子供達と散策したい！というも思っています。子供達はこの林に興味を持っているので尚更そう思います。
目的を明確にし、その目的は住民にとって（年会費は違うが、その時に応じて、二一ス）、わくわく生活ができるように望む。

・ 10) 緑地の管理について

回答詳細
落ち葉が毎年大変なことになっています。一人で掃除できる量ではないので、市としても能動的に落ち葉掃除をお願いします。現状はお電話してやっに対応してくれる状況、現実的な視点で自然を未来に残すための取り組み、予算化をお願いします。
野川の桜のように、景観を考えず、今後の苗を植えない勝手な伐採、手入れがないようお願いしたい。一部の方の利益、意見だけで行われたいことを願ってます
緑地の木の落ち葉に困っています。定期的に手入れはされているようですが、一年を通してもう少しまめに落ち葉の管理をしていただきたいです。
保全する方が一部の人に限られることは推進を弱める原因になり得ると思います。このような情報共有の機会を増やすことや、関わる方、ボランティアの方を募集するなど、地域の方と一体になって推進できる体制を作っていくとより一体感が生まれ、良いと思いました。
ゴミをポイ捨てしたり、糞をそのままにしたりすることは止めてほしいです。
もっと住民が参加して楽しく保全ができたと思う。
あんなに立派な木々エリアはなかなかないので、今後も維持しつつ大切にしていきたい。緑を無駄に切り倒すことは絶対反対。
木々の枝ばらいを1年に1回はしてほしい。うっそうとして暗い。
現状はかなり高い木があり、定期的に剪定など行って管理していただきたい。
雑草や竹、幼木など小まめな刈り取り、伐採が必要（年数回）なので、住民が協力して管理できるようになれば良い。

11 安全性について

回答詳細
崖が崩れないか地盤の調査もしてくれると安心
また斜面が崩落危険場所に指定されているので、深く根を張る樹木を植える、現在の樹木を健康に育てるなどの方法を考えて欲しい。
問7に関して補足ですが、倒木の危険性がある場合は対応していただきたいです。
裏山は樹木が高木で太く大きく、地震が発生した場合、倒木等で非常に危険性があると心配しております。その対策は考えているのでしょうか？お伺いしたいです。